

“浜松 花と緑の祭り 2021”出展・実施報告書

令和3年11月23日

主題催事に NPO 森林インストラクター静岡として参加した。

催事名称 浜松花と緑の祭り 2021
開催日時 2021年11月20日、21日 9:00 ~ 16:00
場所 浜松アクト通りとふれあい広場
参加会員 内山修作、廣野順三
出展内容
1、 木の名前、木の実当てクイズ 参加者には粗品進呈
2、 ヒマワリ及びフウセンカズラの種配布
3、 パズルクラフト販売（コロナ対策で体験制作は不許可のため）

出展内容に対する参加状況と販売結果

1 クイズ参加者	26+21	計 47 名
粗品どんぐりコマ	65	個
遺品クラフト	18	個
2 ヒマワリの種等配布	ヒマワリ 84	フウセンカズラ 50
3 パズルクラフト販売	ペン立てキット 35 個	完売
	パズル 6 組	完売

[催事の概況]

昨年はコロナのために中止。今年も例年に比べ約1ヶ月遅れで開催された。例年50店舗ほどが出展していたが今年は29店舗。出展分野としては園芸店、農産物PRする会、花苗、造園協会、自然系の団体、自然系の工房、竹材店等だった。例年は食べ物や物産もあったが、今年はなしで少し寂しかった。

これまでこの催事に中心となって活動してきた藤田さんが昨年亡くなられ、本年は戸惑いながらも我々が追悼出展ということで参加した。木の名前クイズは、藤田さんが作ったパネルと木の実列車をそのまま活用した。また、藤田さんの木で作った精巧な森の動物や昆虫、魚類のクラフトも展示し、藤田さんを偲んでもらった。それらの展示クラフトやクイズ参加者への粗品としてのクラフトが、クイズ参加者を大いに勧誘したものと思う。皆さんクラフトの精巧さに目を見張っていた。藤田さんの奥様も応援に駆けつけてくれて、いろいろとお世話を頂き本当に心強く感じた。

人の出は例年に比べて7割程度だろうか？ 天気も良かったせいか、初日と2日目の午前中までは人出が絶えることなく、木の名前クイズも盛況だった。

[クイズ] (担当： 内山)

第1日の様子

風一つない小春日和だった。クイズへの参加者は26組あり、ヒマワリの種は45袋・フウセンカズラの種は40袋を受け取ってもらった。特に藤田さんの18個のクラフトは好評で、第1日ですべてなくなった。どんぐりコマも残り少しになってしまった。「スギと言えば・・・?」「シイの実を食べたことある?」「マテバシイは食べられる!半信半疑?」などの反応があった。

第2日の様子

夕方から雨が降るとの予報に心配しながらの参加だったが、風がなく、一刻は日差しもあり快適な日だった。クイズの参加者は21組(累計47組)あり、ヒマワリの種は39袋(累計85袋)、フウセンカズラの種は10袋(累計50袋)を受け取ってもらった。14:30頃には提供するものが全て捌け、開店休業の状態になってしまった。

[パズルクラフト販売] (担当： 廣野)

第1日の様子

今年は体験制作が不許可となり、持ち帰りペン立てキット(100円)と5種のパズルセット(500円)を準備した。コロナで人の出も少ないと予測して、準備も控えめにした。藤田さんのクラフトやクイズに集まってきた方々に声をかけ、パズルクラフトを説明した。売れたのは幼児と低学年及び高齢者で、高齢者は脳トレにいいと言って買っていかれた。100円のペン立てキットが23個、500円のパズルが4個。準備した75%が当日捌けた。

第2日の様子

在庫が少なくなって売り方もやや控えめにしていたが、昼頃には在庫が尽きた。見本でよかったらと交渉し、更に数個の見本が捌けた。

静岡から来た女性の先生らしい方が、藤田さんの木の実の貨車に興味を持ち自分で作ろうとしているとのことだった。木の実を集め今貨車を作っているので、写真を撮らしほしいとのこと。また、このようなことを指導してくれる方を教えてほしいとのことだったので、森林インストラクターしずおかのホームページがある旨紹介しておいた。

しばらく巣籠っていたが、今回の参加を通じて外へ出て多くの方と会話ができたことが嬉しくもあった。

(報告まとめ： 廣野順三)



木の名前クイズに内山さん奮闘。
年配の方もかなりいました。



本通りの様子



子どもたちに囲まれて



クイズ用の12種の木の写真



展示した藤田さんのクラフト